

# 情報セキュリティと情報モラル

～安心・便利なネットワークとは～

滋賀大学経済学部  
中川雅央

## 1. はじめに

滋賀大学では、情報セキュリティに関して積極的な取り組みを実施している。ファイアウォール等のセキュリティシステムを導入するだけでなく、学内にある全てのパソコンにウイルス駆除プログラムを導入する指導や、講習会の開催やメール・掲示等にて啓発活動を行っている。

情報セキュリティは防御システム等を導入するだけでは意味がなく、その情報を取り扱うユーザの意識改善に拠るところが大きいと言われている。極論を言えば、全てのユーザが正しい知識と他人に迷惑を掛けないというモラルを持っていれば、セキュリティは万全に確保されるということになる。

また、インターネットに代表される情報ネットワークでは、利用するのは人であり、データを作成するもの人である。つまり、ネットワークは人のために人によって作られたものであるため、人の道(モラル)に反する行為は、すなわちネットワーク社会に対する反乱だと言える。

したがって、セキュリティはユーザ=人が重要な要素であり、その改善がなければ、セキュリティは無意味となる。利用者の各個人のモラルによってネット社会は成り立つのである。

## 2. エンドユーザによるセキュリティの確保

滋賀大学彦根キャンパスでは、学内にある全てのパソコンにウイルス駆除プログラムを導入するよう指導している。基幹ネットワークにセキュリティサーバを導入しただけでは不十分であることは容易に理解できるだろう。すなわち、セキュリティサーバを経由しないデータは当然チェックされることなく各個のパソコンに直接届くため、最終地点である各個のパソコンにセキュリティシステムを導入することが必須条件となる。

昨今はパソコン用のセキュリティシステムの高機能化によって、アップデートなどの適切な処置をしているパソコンであれば、十分な情報セキュリティ環境を維持できるようになった。ただし、あくまでも適切な処置をしているパソコンに当てはまる話であり、そのシステムをインストールしただけで、継続的にアップデートをしていないパソコンは保証できない。繰り返しになるが、エンドユーザ自身が使用しているパソコンのセキュリティ環

境を維持しなければ、セキュリティの保証はできない。

## 3. PCセキュリティの基本

各個人がすべきセキュリティ対策をまとめると次の4点になる。

### (1) OSのアップデート(修正パッチの適用)

PCの動作において基本となるソフトウェアがOS(オペレーティングシステム)である。例えばLinux、MacOS、WindowsなどはOSの種類を示す名称である。各アプリケーションソフトウェアはこのOSというシステム上で動作するものであり、そこにバグ(プログラム上の欠陥)がある場合には、当然各アプリケーションソフトウェアの動作に影響を及ぼす。OSもソフトウェアの一種である以上はバグ(プログラム上の欠陥)を含むため、特に情報セキュリティ上重大な欠陥である場合は早急にアップデート(修正パッチの適用)する必要がある。

OSのバグを解消しなければ、いくらウイルス対策ソフトを駆使しても、その基盤となるOSに不具合があるままでは、その機能は制限される。したがって、OSのアップデートがセキュリティを守る第一の対策と言える。

### (2) セキュリティシステムのアップデート(修正パッチの適用)

OSのアップデート(修正パッチの適用)がされているということを前提として、ウイルス対策ソフトや各種防御用ソフトなどのセキュリティシステムを継続的にアップデートすることも重要である。これらのシステムは、近年高度化する不正アクセスに対応すべく各メーカーが制作したもので、一般ユーザの知識だけでは防ぎきれないウイルスや不正アクセスを防御する役割をもつ。

継続的にアップデートして最新の状態を保たなければ新たな攻撃に対処できないため、セキュリティシステムはOSのアップデートよりも頻繁にする必要がある。新種ウイルスは1日1種以上のペースで発生しており、できれば毎日アップデートするのがよいが、最

低でも週一回はすべきである。

(3)その他のソフトウェアのアップデート(修正パッチの適用)

OSとセキュリティシステムのアップデートをしたのち、パソコンにインストールされている各種のソフトウェアをアップデートする。

ユーザが意識的に使用しないソフトウェアであっても、他のソフトウェアとの関連性が高いもの(例えばMicrosoft社のOffice関連ソフト等)はアップデートする必要がある。

(4)ユーザ自身で情報セキュリティを守る意識をもつ

最後に重要なのが、ユーザ自身の意識である。情報ネットワークのしくみを知り、自分が利用している情報がどのように処理されるのか、あるいはどんな情報が悪影響を及ぼすのかといった知識

を習得するとともに、他のユーザに迷惑とならないよう、常に自分が利用するコンピュータやネットワークの環境を把握しておくことが大事である。

#### 4. おわりに

人間である以上、ミスする可能性は否定できないため、各ユーザはアップデートなど、できるだけ処置をしなければ場合によっては大きなリスクを被る可能性もある。

各個人がセキュリティの意識をもつことの重要性を述べたが、たった1人の油断が、多くのユーザに多大な被害をもたらすこともある。情報ネットワークという社会の中で気持ちよく過ごすためには、やはり、私たち自身の行動にかかっているのである。

さらなる高度情報化社会に前進するために、ぜひとも情報セキュリティについて、もう一度、視点を変えて考えていただきたい。